

「CATY」の名前は、「Campus」と「CITY」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生」を合意ごとに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が教材活動を通じて「読む・書く・話す」といった能力を開拓していくことを意図しています。

学報 News CATY

ニュース キャティ

2022年9月
開学40周年特集号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町3-1-1
TEL0125-23-4111 FAX0125-23-5590
広報委員長 佐野 博之

中期5ヵ年計画の基本方針「教育の質の向上と地域活性化への取り組み」の初年度として、少人数教育のメリットを最大限に活かせる教育体制の強化、地域と連携した教育体制の再構築、キャリア支援の質的向上、および北海道内全域からの募集強化を柱として、卒業後はそれぞれの地域社会で活躍し貢献できる人材を育成する短期大学部となることを目指しています。



国学院大学北海道短期大学部
学長 平野 泰樹

キャリア支援と 地域活性化への新たな 取り組み

本年は、短期大学部開学40周年の年であるとともに、本法人の前身である皇典講究所が明治15年に設立されてから140年となる佳節の年でもあります。顧みますと、滝川市ご当局から、公式に本法人に対して短大誘致のお申し入れを頂きましたのが昭和53年12月、そして「國學院女子短期大学」として呱々の声を上げたのは、あたかも本法人創立百周年にあたる昭和57年4月のことでした。爾来40年が経ち、この間、男女共学制への移行や専攻科の開設など、時代の変化に応えるべく日々改革に努め、「國學院大学北海道短期大学部」として目標を掲げ、地域活性化に貢献する短期大学部となるべく、新たな中期5ヵ年計画をスタートさせ百周年を迎えることになります。



開学40周年を祝して

滝川市長 前田 康吉

学校法人國學院大學 理事長 佐柳 正三

國學院大学北海道短期大学部が、開学40周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。顧みますと、大学の誘致に奔走していた当時は、大学の開学が厳しく制限されていた時代であります。しかし、滝川市民のみならず中空知広域圏の地域住民の強い要望と、多くの関係者の努力添えにより、当時の文部省から特別の必要性が認められ、中空知唯一の高等教育機関として昭和57年に國學院女子短期大学として開学されました。以来、國學院大学の輝かしい伝統と建学の精神をもって、少人数教育のメリットを最大限に生かせる教育体制の強化、地域と連携した教育体制の再構築、キャリア支援の質的向上、および北海道内全域からの募集強化を柱として取り組みます。特に、学生カルテの活用・充実、地域連携の策定強化、北海道内学生の募集強化は具体的に着手し、「地域で活躍し貢献できる人材を育成する」短期大学部を目指します。

国学院大学北海道短期大学部

将来像実現に向けた5つの戦略

将来像

地域活性化に貢献する 短期大学部となる

少人数教育のメリットを最大限に生かせる教育体制の強化、地域と連携した教育体制の再構築、キャリア支援の質的向上、および北海道内全域からの募集強化を柱として、卒業後はそれぞれの地域社会で活躍し貢献できる人材を育成する短期大学部となることを目指しています。

教育目標
地域で活躍し
貢献できる
人材を育成する

- | | | | | |
|--|---|--|--|---|
| <p>戦略 1</p> <p>キャリア強化による
地域で活躍できる
人材の輩出</p> <p>戦略達成のストーリー</p> <p>学生の進路選択の質（希望とのマッチング）を向上させ、進路の多様性に対応した施策を講じる。就職では、インターンシップ受け入れ先をさらに拡大するとともに、企業との関係構築を強化。公務員試験対策では、新たな取り組み（選抜試験、奨学金、公務員試験対策講座）により合格者の増加を目指していく。</p> <p>達成後の姿</p> <p>【キャリア支援】キャリアセンターの機能拡充と全学的な体制の確立によって、学生が一般就職や公務員就職、そして編入学といった多様な進路を選択・実現できている。国学院大学観光まちづくり学部への編入学環境が整備され、学生にとって新たな選択肢が増えている。</p> <p>【教育の質】基礎学力の向上によって、学生が希望する編入先への進学がスムーズに進行している。</p> | <p>戦略 2</p> <p>教育の質を保証する
仕組みの強化</p> <p>戦略達成のストーリー</p> <p>全般的な自己点検・評価体制を構築。認証評価で用いられる「内部質保証ループリック」に基づく自己点検・評価を行い、学習成果と3つのポリシーの検討・見直しを促進する。それに伴うカリキュラムの改定を適宜行うとともに、ICT環境を整備し教育の質の保証を促進していく。</p> <p>達成後の姿</p> <p>【教職員組織】教員の世代交代に伴う新たな自己点検・評価体制が構築され、全般的な評価活動と評価報告書作成の取り組みができる。</p> <p>【教育の質】3つのポリシーおよびカリキュラムの改定が行われ、各施策にも反映されている。教養科目では多様性が維持され学生に提供されている。</p> <p>【DX/ICT】教学に関わるICT環境の整備が完了し、教育の質向上や法人間連携に貢献している。</p> | <p>戦略 3</p> <p>地域活性化に向けた
多様な取り組みの推進</p> <p>戦略達成のストーリー</p> <p>授業を市民に開放することで生涯学習機能を高めていく。また、地域活性化をテーマにした教養科目を開設し、国学院大学観光まちづくり学部の協力を得て、地域活性化人材の育成を行なう。同時に短大部、滝川市、国学院大学観光まちづくり学部が三位一体となった「まちづくりプラットフォーム」を構築し、地域活性化を促進していく。</p> <p>達成後の姿</p> <p>【社会・地域貢献】本学が高等教育機関の役割として、講義生制度による授業科目の開放が行われ、市民の自己実現に貢献できている。短大部、滝川市、国学院大学観光まちづくり学部の協働によるまちづくりプラットフォームが完成し、地域活性化を促進する新たな取り組みが展開している。</p> <p>【教育の質】地域活性化をテーマにした教養科目（座学と演習）に、国学院大学観光まちづくり学部の教員が参画している。</p> | <p>戦略 4</p> <p>新システムの導入と
研修による、きめ細かい
個別指導の実施</p> <p>戦略達成のストーリー</p> <p>学生カルテによる学生情報の一元化を推進し、積極的に活用した個別指導を強化していく。また、自分の学業や課外活動、地域活動、就職活動の状況などをいつでも閲覧できるポートフォリオおよび授業の重点や成績評価を可視化するループリックを導入することで、学習意欲の向上に役立て、学習成果の向上へつなげる。</p> <p>達成後の姿</p> <p>【学生生活支援】一元化した学生情報を活用した個別指導が、学修成果の質的・量的な獲得につながっている。ポートフォリオの活用が学生自身の学習状況や不足点の自覚を促し、個別指導の受け入れにつながっている。</p> <p>【教育の質】ループリックの導入による授業の重点や成績評価の可視化が、学生の学習意欲向上に貢献している。退学率が3%以下になっている。</p> | <p>戦略 5</p> <p>学生募集の強化</p> <p>戦略達成のストーリー</p> <p>キャリアセンターの機能を拡充し、学生が希望する職種や企業への就職を促進することで「道内出身者の募集強化」につながる。また、幼稚保育コース専用の奨学金制度を積極的に活用するとともに、幼稚園教諭や保育士の人材確保に苦慮している自治体と授業料分担に向けた連携を進め、幼稚保育コースの入学者増加を図る。</p> <p>達成後の姿</p> <p>【学生募集】在学生や卒業生の姿が高校教員や高校生に届き、道内からの入学者数が増加している。</p> <p>【キャリア支援】独自の奨学金制度や自治体との連携による就職実績が、志願者の安定的な確保に貢献している。道内自治体や企業との関係拡大や強化によって、学生が希望する就職先への進路決定数が拡大し、特に幼稚保育人材を望む道内自治体のニーズを満たしている。</p> |
|--|---|--|--|---|



国学院大学 北海道短期大学部

保育士・図書館司書 幼・小・中教員免許 国学院大編入学多数

※国学院大学北海道短期大学部協力会がJR函館本線のPR看板2枚をリニューアルしました。

また、市庁舎に入学歓迎懸垂幕を寄贈しました。

語れる2年間を過ごそう

学科紹介

総合教養学科



リアルな体験を通して学ぶ実践的な学び場

総合教養学科は、学びたい分野や希望する進路に合わせて、経済・経営学、法學、英語・海外の文化、哲學などを学ぶことを通じて広い教養を身につけることを目的としています。入学者は地元の滝川から南は九州、沖縄まで各地から集まっています。学生たちは自分の興味のある分野を深めていく一方、多様な価値観や考え方を交流させることにより、多様性を身につけさせています。卒業後は國學院に編入する学生も多く、北海道で就職し地域を支える人材となる学生も少なくありません。

本学科の学びには3つの大きな特徴があります。1つ目は「ゼミの総合教養学科」です。入後全員がすぐゼミに入り、一年間少人数制のゼミに所属します。ゼミはテキストを精読するものから、まちに出て地域活性化を実践するゼミまで多様性に富んでいます。ゼミでは教員が学生の勉学面はもちろん生活面もサポートしていくことで、安心して短大生活を送ることができます。

2つ目は「リアルな体験価値」の重視です。都市部の大手ではできない北海道ならではの経験ができるのも本

（総合教養学科長 教授 外井 雄二）

国文学科



「文学」「歴史・民俗」「神道」「創作」を極める学科

国文学科は、北海道内の大学で唯一、古代から現代までの日本文学、日本史、神道学・宗教学、漢文学、国語教育、芸術創作などを本格的に学べる学科です。基礎力から高度な専門的能力までを体系的に身につけることができるよう構成されたカリキュラムにしたがって教育を行っていますが、特に特徴的なのは卒業論文です。学生たち全員がそれぞれ少人数制のゼミに所属し、各自が決めたテーマにそって研究を行い、2年間の集中成として卒業論文を完成させます。ゼミ活動を通じて、各授業で培った様々な技能や知識が統合され、資料を読み解く力、定量的な文章を書く力、論理的に考える力、主体的に取り組む力、人とコミュニケーション力などが得られます。社会人となるための基礎が培われていきます。優秀な卒業論文は毎年、学術雑誌『滝川国文』に掲載され、国会図書館をはじめ、全国の大学図書館に所蔵されています。

研究教育の場で扱う資料は、近現代文学作品のほか、変体仮名、古文書、漢文、公文書など多種多様です。高校までの学習で触れるこのなかで、

（国文学科長 教授 山寺三知）

資料を扱い、解説することができるようになります。これで、今まで先人たちが残した貴重な文化遺産を後世に継承してゆくために、このような能力を養成することは、本学科の重要な使命の一つであると考えています。

卒業生たちは専門的能力を活かして各界で活躍しています。主な進路先は、図書館司書、中学校教師、公務員、金融機関ホルダ、簿記、熟筆業など様々ですが、特に司書については、狭き門ながら毎年のように就職を果たしています。その他、毎年、多くの学生が國學院大學へ編入学しています。

教員を目指す学生も多く、短大を卒業して中学校教諭になる者のか、編入学を経て高校教諭になる卒業生も少なくありません。中には國學院大學卒業門へ進む者もいます。

（副学長 国文学科長 教授 山寺三知）

幼児・児童教育学科 児童教育コース



児童教育コースの現在～教えることは学ぶこと～

学科の特徴です。市役所や地元企業などの課題に對してグループで調査研究し、解決案をアレンジする授業や地域活性化に向けた「フィールドワーク」など、多くの実験的・探究的要素が組み込まれています。

3つ目は「学生が主役の学科」です。この遊びを追求しています。これまでの経験は他の大学生との差別化を図るために、体验から得られる生徒の情報や経験価値が学生の成長を促します。

4つ目は「学生が主役の学科」です。これまでの経験は他の大学生との差別化を図るために、体验から得られる生徒の情報や経験価値が学生の成長を促します。

（児童教育学科長 教授 山寺三知）

幼児・児童教育学科 幼児保育コース



地域との交流で磨く実践力

社会が大きく変わつたある中、一人人がもつ保育・教育についての矜持、他方で変化や多样性への柔軟な姿勢という、一見すると相反するような二つの態度が保育者として必要になります。地元滝川市に限らず、北海道内あるいは全国に保育者として巣立つていった卒業生は、これらの態度を備え、2年間で身につけた知識、能力、感性を基盤として、自分で考へ、課題を見つけて解決していくことのできる存在になっています。

（准教授 菅原健太）

幼児保育コースは、これまで地域交流を含めた実践的な教育活動を行つきました。それは、子どもたちの敏感受性に対し、共感し、受容し、導いていく力をもつた保育者を養成するためでもあります。他にも、風揚げなど普遊びを中心とした科目、あるいは英語を用いた保育活動を学ぶ科目など、2年間という短い時間の中であつても、保育者として必要な知識や能力、あるいは感性を総合的に獲得することができるのは本コースの魅力だと思います。

保育・教育における質の高さは、それぞれの地域生活の質を支える重要な基盤です。10年後、開学5周年を迎える時には、保育者として働く保育者として、これまでの卒業生と、新たな時代を生きるこれらの卒業生が混ざり合いかながら、それぞれの地域において、自分を育て続けています。（幼児保育コース長 教授 山寺三知）

（准教授 菅原健太）

幼児保育コースは、これまで地域交流を含めた実践的な教育活動を行つきました。それは、子どもたちの敏感受性に対し、共感し、受容し、導いていく力をもつた保育者を養成するためでもあります。他にも、風揚げなど普遊びを中心とした科目、あるいは英語を用いた保育活動を学ぶ科目など、2年間という短い時間の中であつても、保育者として必要な知識や能力、あるいは感性を総合的に獲得することができるのは本コースの魅力だと思います。

保育・教育における質の高さは、それぞれの地域生活の質を支える重要な基盤です。10年後、開学5周年を迎える時には、保育者として働く保育者として、これまでの卒業生と、新たな時代を生きるこれらの卒業生が混ざり合いかながら、それぞれの地域において、自分を育て続けています。（幼児保育コース長 教授 山寺三知）

活躍する卒業生

淑徳大学地域創生学部開設準備室 勤務

市東 真一さん

平成25年3月 国文学科卒業
平成27年3月 國學院大學 文学部日本文学科卒業

チセでの一人の焚火から

私が國學院大學北海道短期大学部に入学したのは、渋谷にある本校へ編入学するという目的だけでした。単純に、自分の望むところにどうやったら行けるのか、それだけをひたすら2年間考えていました。当時の楽しみと言えば、同級生とのカラオケや麻雀、さらにはテレビゲームをすることでした。それ以外に、短大敷地内にある伝統的なアイヌ民族の住居である笹葺きの家「チセ」を保存管理するための焚火のボランティアでした。単純に、チセの中で焚火をやることがただ楽しいという理由だけで、このボランティアをやっていました。チセで焚火をする時は、別にそれで報酬が貰えるわけではない、生活が楽になるわけでもない、それでも無性に続けていたいと感じていました。

そして國學院大學へ編入学して、短大入学当初の目的を達成しました。一方で、一緒に勉強していた同級生とのつながりは希薄になり日々孤独を感じていました。そうした中で、いつも記憶に残っていたのは、あのチセでの焚火でした。千葉県での祭礼に参加して調査していたところ、あのチセの焚火で感じた無性な楽しさが蘇ってきました。それから、気が付くと私は民俗学の研究者を目指していました。



國學院大學を卒業してから、神奈川大学歴史民俗資料学研究科に入學し、そこで修士・博士号を取得しました。令和2年には日本民俗学会第40回研究奨励賞を受賞し、令和3年には日本学術振興会の出版助成金160万円を取得。博士論文を単著として刊行しました。そして、現在の所属先である淑徳大学へ就職しました。

ただ、漠然と民俗学の研究が楽しいからやっている、それだけの理由でここまで来ました。それには、國學院大學北海道短期大学部で勉強した日本文学の知識や、恩師である月岡先生の指導があったからでしょう。たぶん、滝川に来ていなければ、全く違う人生を歩んでいたと思います。現在でも、様々な地域で調査を行っている時、あのチセでの無性な楽しさが今でも蘇ってきます。私は今もなお、あのチセで一人黙々と焚火をしているのでしょうか。

滝川市立滝川第三小学校 教諭

中島 未貴さん

令和2年3月 幼児・児童教育学科児童教育コース卒業

児童教育コースのおかげで 小学校教諭になられました

現在私は、滝川市立滝川第三小学校で学級担任として、子どもたちと一緒にたくさんのこと学んでいます。そんな私は、小学校から大学まで全て滝川市で過ごしていました。

小学校教諭を目指したきっかけは、私が小学1・2年生の時に担任だった菊池先生のようになりたいと思ったからです。菊池先生は、子ども同士のトラブルを見逃さず、きちんとお互いの話を聞いたうえで指導をしていました。私も子どもたちに寄り添った丁寧な指導を心掛けたいです。

私が小学校教諭になるために学んだ短大の思い出は、2つあります。

一つ目は、児童教育コースのみならず過ごした学校生活についてです。当時、児童教育コースには私も含め28名の学生が在籍していました。この28名で小学校教諭になるために、先生役と児童役になり模擬授業をしたり、稲作を体験したりと様々な経験をしました。このコースは、座学だけではなく体験的な講義がたくさんあり、勉強が苦手な私でも「楽しい」と思える講義ばかりでした。

2つ目は、教育実習です。母校の滝川市立東小学校で1年生の担当になり、子どもたちとの関わりや授業を教える大変さを知りました。心が折れそうになりましたが、指導教諭の下谷先生を始め東小学校の先生方が寄り添ってくださったおかげで、実習期間の3週間を乗り越えられ、自分が「来年には小学校教諭になる」という意



識を高く持つことができました。

小学校教諭になるためには、小学校教諭2種免許取得のほかに教員採用試験に合格しなければなりません。1次試験は筆記問題、2次試験は当時ピアノや水泳の実技と面接などがありました。児童教育コースの田代先生に面接の極意を教わり、自信をもって面接に臨んだことを覚えていました。

教員採用試験に合格し、小学校教諭として働いてからは、短大で学んだすべてのことが現場で生かされていることを深く実感しています。

私の今後の目標は、「楽しい授業」ができるようにすることと、子どもたちが素直優しい人に育つように指導することです。第三小学校の先生方からたくさんいいところを吸収して学び、理想の先生に近づけるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

滝川中央保育所 保育所長

佐藤 幸恵さん

平成3年3月 幼児教育科（現 幼児・児童教育学科 幼児保育コース）卒業

滝川の街の人たちに支えられて

國學院女子短期大学に入学してから今に至るまで、滝川の街のたくさんの方々に助けられてきました。

当時、アパートの大家さんが、短大弓道部の指導をされていましたこともあり、弓道部に入りました。仲間と一緒に、学生弓道大会で上位を目指して練習に励んだことも、楽しい思い出です。32年経った今でも集まるほどの、仲良し部員です。滝川市の弓道連盟の方々にもご指導いただき、昇段試験にも皆で合格することができました。

幼児教育科の専門科目の講義は、個性豊かな先生方が多く（笑）、とても新鮮だったことを覚えています。中でも、保育士の方が講師をしていました科目では、授業の内容を細かくノートに取っていました。その頃、保育の現場に、強く興味を持ち始めたと思います。

初めての保育実習では、毎日が楽しくて、あっという間に終わってしまったことを鮮明に覚えています。実習後、短大の先生に、「冬休みにも実習に行きたいです！」と希望し、再び受け入れていただきました。今考えると、なんと図々しい学生だったのだろうかと思いますが。実習先の先生方には、温かく迎え入れていただき、その実習がきっかけで、とにかく、「保育」が大好きになってしまいました。将来、「絶対に保育士になる！」と心に



決めたのも、この実習の時でした。今でも実習先の先生方に、本当に感謝しています。それから1年半後、念願だった「保育士」としての第一歩を踏み出しました。

保育士1年目は、子どもの命を預かるという安全意識の低さと視野の狭さから、ケガをさせてしまったり、無力な自分に涙があふれた日もたくさんありました。指導し、支えてくれた先輩保育士の先生方、そして保護者の方々の寛大さ、本当に有り難い限りでした。

今、「保育」に夢をもって入職した新人保育士2名を職場に迎え、かつて自分が感じていた気持ちを思い出しています。

お世話になった滝川の街に、少しでも恩返しができるよう、「保育」の楽しさを伝えていけたらと思います。

日本航空株式会社 勤務

山田 元美さん

平成23年3月 総合教養学科卒業
平成25年3月 國學院大學 文学部外国語文化学科卒業

夢を持つことは大事なこと 諦めなければ、夢は叶う

小学生の頃より飛行機に対する憧れがあり、中学生からは本格的に自分の道を探し始めました。当初は、パイロットを目指し東京の大学への進学も視野に入っていましたが、國學院大学出身の進路指導部の先生から、「國短は國學院大学へ編入学できる制度があり、アットホームな環境下で勉強に取り組めるよ」と聞き、國短に決めました。入学後、本格的にパイロットへの道を深く調べていくうちに、客室乗務員の仕事に魅力を感じ、この仕事が夢となり、新たな目標に向かって進み始めました。

授業の出席率は一番にならうと心がけ、いつも友人たちと一緒に席の席に座って講義を受けたことを鮮明に覚えています。短大時代の1番のエピソードは、國學院大学の国際交流課に相談し、2年生の時にオーストラリアに留学したことです。英語の勉強に力を入れていた私に、昼夜みや放課後等を利用し、英文法や英会話を指導してくれた先生には、今でも感謝しています。選択科目で受講した体育では、滝川ならではの自然をキャンパス内で体験することができ、色々な発見がありました。國短は私の好奇心を高め、世界を身近に感じさせてくれるきっかけの場所でした。おかげで卒業時には、成績優秀者として表彰していただくこともできました。

学生数が少ないで学生同士の距離が近く、困ったことがあれば助け合い、高め合える環境でした。教職員の皆さんも、親身に相談に乗ってくれました。振り返ると、國短での2年間が今の私に大きな影響を与え、無駄なこ



とは一つもなかったと自信を持って言えます。

平成25年、夢が実現し客室乗務員になりました。平成30年には結婚し、翌年第一子を出産しました。育児休暇を経て復帰した後も、国際線のロングフライトを担当できたのは、家族や周りのサポートのおかげです。今年、第二子を授り、現在育児休暇中です。家族との時間を大切に過ごしながら、今後の目標である機内アナウンスインストラクターになるため、アナウンスの技量をより向上できるよう日々励んでいます。仕事と子育ての両立は、キャリアアップをする上で、周りと比べるとゆっくりかもしれません、いつかは教官という道を切り拓いていけるよう、これからも精進していきます。

私のモットーは、「笑う門には福来る」。笑顔で過ごしていると、笑顔の仲間が集まり、ハッピーがつながる。もちろん辛い時は泣いてもいいし、助けを求めてもいいけれど、基本は笑顔で！お客様から「素敵な笑顔に心が癒された」と職場にメッセージをいただいたときは、本当に嬉しかったです。この気持ちと笑顔を忘れないければ、来春を予定している職場復帰後も頑張っていけると思っています。

令和4年度 児童教育コース 教員採用状況

北海道公立小学校教員採用試験

国学院短大生 13名 合格

国学院大学に編入学した学生 12名 合格

<採用の内訳> 北海道 5名
東京都 2名
神奈川県 3名
横浜市 2名

教員を目指すなら國学院

就職 32名

国文学科	10名
総合教養学科	5名
幼児保育コース	11名
児童教育コース	6名

主な職種 公務員、金融機関、司書、ホテル業界、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭

就職サポート

個人指導と多様なスキルアップメニュー

ワークスタディ > 先輩が学校生活をバックアップ!
学内の業務に携わながら、社会人基礎力を養成する、学内のワークスタディという制度が充実しています。

キャリアセンター > 就職活動を支援

個別指導を基本に就活面接や模擬面接などを実施して、地方公務員、一般企業、福祉事業など職種別細やかな就職活動を行っています。

進学 181名

(国学院大学へ編入学 166名)

[編入学]	
国文学科	67名
総合教養学科	80名
幼児保育コース	1名
児童教育コース	29名
[専門学校]	4名

國學院大學・他大学への 編入学サポート

本学から國學院大学の5学部（子ども支援学科、観光まちづくり学部除く）3年次への推薦編入学が可能となっています。推薦基準を満たし、編入学枠内であれば希望学科に合格することができます。本学から國學院大学3年次への編入学時に入学金の一部（18万円）が減免されます。また、道内や道外の多くの大学に指定校推薦編入学が可能となっています。（北海学園大学、北邦大学、駿河大学など）

国文学科 95.3%

総合教養学科 94.7%

幼児保育コース 100%

児童教育コース 100%

令和4年3月卒業生 進路決定率

國學院短大の強み
数字をみると見えてくる

**國學院大學
北海道短期大学部開学
40周年
特別講演会**

國學院大學
北海道短期大学部は、地域の皆様
の支えにより昭和57年に開学以来、今年で
40周年を迎えることになりました。
令和4年度、國學院大學横浜たま
プラザキャンパスに新たに「観光
まちづくり学部」が誕生。
北海道の短大と滝川市との
今後の連携・協力に期待して西村学部長を
お迎えして講演会
を開催します。

國學院大學
観光まちづくり学部
教授・学部長
西村 幸夫 氏

令和4年(2022年)
9月16日金
18:00~19:30

場所 ホテル三浦華園
滝川市花月町1丁目2-26 TEL (0125)22-2101

入場無料

主催/國學院大學北海道短期大学部
後援/滝川市・滝川市教育委員会・滝川商工会議所

お問い合わせ 国學院大學北海道短期大学部 〒073-0014 北海道滝川市文京町3-1-1
TEL 0125-23-4111

国学院大学北海道短期大学部開学 40周年記念事業

※コロナ禍につき、大々的な周年事業は難しい状況ですが、創立40周年に合わせて、各種事業を予定しています。

01 絵本作家柴田ケイコワークショップ
9月17日(土) 10:00~ 場所:短大図室
定員:子ども15名(保護者同伴)
柴田ケイコさんによる絵本の読み聞かせとワークショップを開催申込・問い合わせ:滝川市立図書館(TEL:0125-22-4646)

02 記念しおり・ブックカバーの配布
9月24日(土)~11月末(予定)まで 配布場所:市立図書館及び短大図書館
連携10周年を記念したオリジナルデザインの紙製B4ブックカバー(3種)と手作りのしおりを配布
※なくなり次第終了 短大は9月26日㈪~配布

03 國短×滝川 連携のあゆみ展
市立図書館 9月24日(土)~10月26日(水)まで 短大図書館 9月26日(月)~10月21日(金)まで
これまでに滝川市と短大が連携して実施した事業の様子の写真パネルや関連する図書の展示

04 國學院大學図書館の名品『天下人とその時代』
市立図書館 10月8日(土)~10月15日(土)まで 短大図書館 10月8日(土)~10月21日(金)まで
場所:市立図書館及び短大開学記念館3階
國學院大學図書館が所蔵する織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の古文書をその時代の関連図書と併せて展示

**05 堀越祐一准教授の特別講演会
『古文書からみる天下人の時代』**
10月15日(土) 14:00~ 場所:市役所1階ロビー 定員:40名
短大の堀越准教授による来年の大河ドラマをもっと面白く見るための講演会
申込・問い合わせ:滝川市立図書館(TEL:0125-22-4646)

特別講演会
【日時】9月16日金 18:00~19:30
【場所】ホテル三浦華園 滝川市花月町1丁目2-26
TEL:0125-22-2101
【演題】「地域を見つめ、地域を動かす」
—新学部への思い—
【講師】國學院大學観光まちづくり学部 学部長 西村 幸夫 氏

国學院大学北海道短期大学部 四十年の歩み

1982年 (昭和57年)4月	国學院女子短期大学として開学	1	2006年 (平成18年)4月	2種免許取得課程)の児童教育コースを開設し、2コース制とする
1984年 (昭和59年)2月 3月	国學院女子短期大学同窓会(あります会)設立 開学記念館落成		2007年 (平成19年)10月	開学25周年記念式典挙行
1987年 (昭和62年)10月	開学5周年記念式典挙行		2008年 (平成20年)4月	コミュニケーション学科を総合教養学科へ名称変更
1991年 (平成3年)4月 7月	国學院短期大学に名称変更し、男女共学化 (男子1期生は30人) 北側校舎・図書館増築竣工 家主連絡協議会発足		2009年 (平成21年)4月	国學院短期大学から国學院大学北海道短期大学部へ校名変更 入学定員を各学科75名、合計225名に変更
1992年 (平成4年)10月	開学10周年記念式典挙行 開学10周年記念事業「狂言」公演	2	2010年 (平成22年)4月 7月 9月	幼児・児童教育学科に福祉介護コース導入 アメリカ合衆国マサチューセッツ州スプリングフィールド大学と教育交流促進協定を締結 滝川市と災害時応援協定を締結
1995年 (平成7年)3月 4月	サークル棟竣工 専攻科(国文専攻・英語専攻)開設		2012年 (平成24年)2月 4月 10月	滝川市立図書館と図書館相互協力について締結 開学30周年宣言 開学30周年記念式典挙行 卒業生を対象にホームカミングデー実施 「カントリー アンド エデュケーション」記念出版 開学30周年記念同窓会
1999年 (平成11年)4月	国文科・英語科・幼児教育科の名称を国文学科・ 英語コミュニケーション学科・幼児教育学科に名称 変更		2014年 (平成26年)5月	滝川市・滝川商工会議所・短期大学部による第1回 地域連携協議会開催
2000年 (平成12年)4月	専攻科福祉専攻(介護福祉士養成1年課程) 開設(平成31年度以降募集停止) 国學院大学全学部全学科へ編入が可能となる (編入枠拡大)	3	2015年 (平成27年)7月	滝川市と包括連携協定を締結 (滝川市より連携事業に対する補助・学生への滝川市 修学助成金の見直し・滝川西高等学校生の本学への 進学促進奨励金創設・豊かな地域創生人材養成奨 学金創設)
2001年 (平成13年)4月 7月	英語コミュニケーション学科をコミュニケーション学科に名称 変更 チセ完成	4	2017年 (平成29年)4月	幼児・児童教育学科の介護福祉コースを廃し、幼児 保育コースと児童教育コースの2コース制とする
2002年 (平成14年)8月	開学20周年記念事業「薪能」公演 (北海道神宮)	5	2020年 (令和2年)4月	入学定員を国文学科85名、総合教養学科85名、 幼児・児童教育学科55名、入学定員225名とする
2003年 (平成15年)10月	FM CATY放送開始	6	2021年 (令和3年)9月	老朽化によりチセ解体
2004年 (平成16年)1月	国学院短期大学協力会による短大看板設置除幕式		2022年 (令和4年)9月	開学40周年記念事業 特別講演会
2006年 (平成18年)4月	北海道滝川西高等学校と高大連携について調印 幼児教育学科を幼児・児童教育学科と改称し、幼 児保育コースと小学校教員養成課程(小学校教諭	7		ページ上段▶

思い出のアルバム
年表の番号と照らし合わせて
ご覧ください